

価格.comトレンドニュース:<http://kakaku.com/trendnews/>

ドコモ「Xperia」発売で、スマートフォン市場が急拡大！

～「Xperia」効果でソフトバンクを上回ったドコモ、
次期「iPhone」で巻き返しを図るソフトバンク、2強を追う au～

月間約2,500万人が利用する購買支援サイト『価格.com』に蓄積される、アクセスデータや価格情報などを集計・分析したレポートサイト、『価格.comトレンドニュース:<http://kakaku.com/trendnews/>』より、簡易レポートをお届けします。

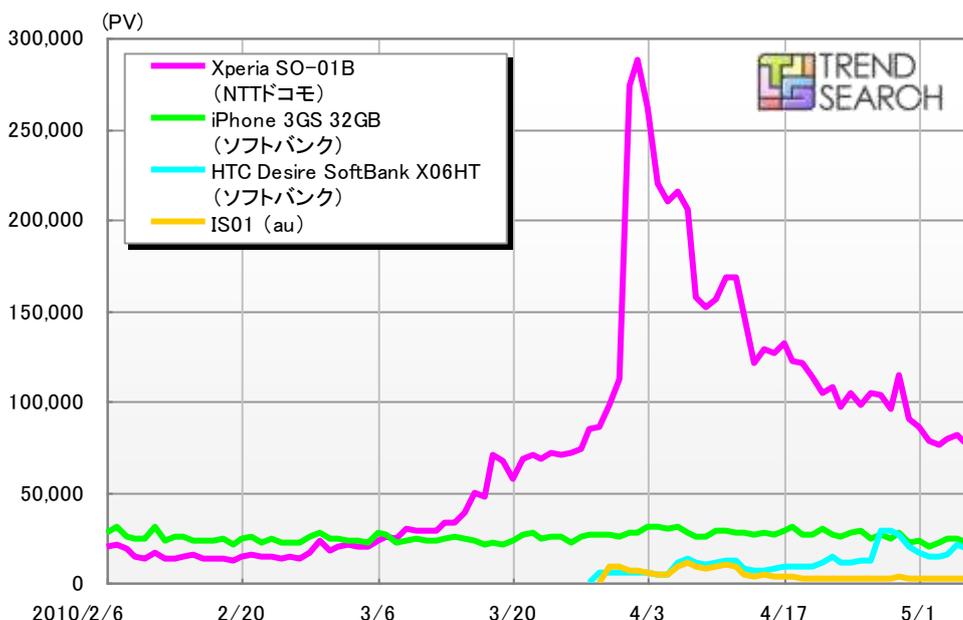
開発発表から発売当日に至るまで非常に多くの話題を集めたNTTドコモのスマートフォン「Xperia SO-01B」(ソニー・エリクソン製)が発売されてから1か月以上が経過しました。そこで今回は、現在のスマートフォン市場について、各社製品のアクセス動向から分析をおこなってみました。

ドコモのスマートフォン「Xperia」、ピークから急低下も依然一番人気をキープ

「Xperia」は、開発発表から発売当日に至るまで非常に多くの話題を集め、発売初日の4月1日には、価格.comにおける「Xperia」の製品詳細ページの総PV(ページビュー)が30万PVに迫る勢いを見せた人気製品だ。発売日以降は、4月3日を境に急速にPV数が低下し、現在は7～8万PV前後で推移しているが、図1が示す主要スマートフォン製品のPV数の推移を見ると、ソフトバンクモバイルの「iPhone 3GS 32GB」と「HTC Desire SoftBank X06HT」、auの「IS01」など、ライバル製品となるスマートフォンに比べ、今でも3倍近いPV数を維持しており、依然として「Xperia」の注目度が高いことがわかる。

なお、クチコミの件数は、5月10日時点で8,570件、レビューは215件。発売後1週間の時点でクチコミが3,800件、レビューが約50件だったことを踏まえると、3週間で2倍以上に増加していることになる。

【図1 主要スマートフォン製品のPV数】



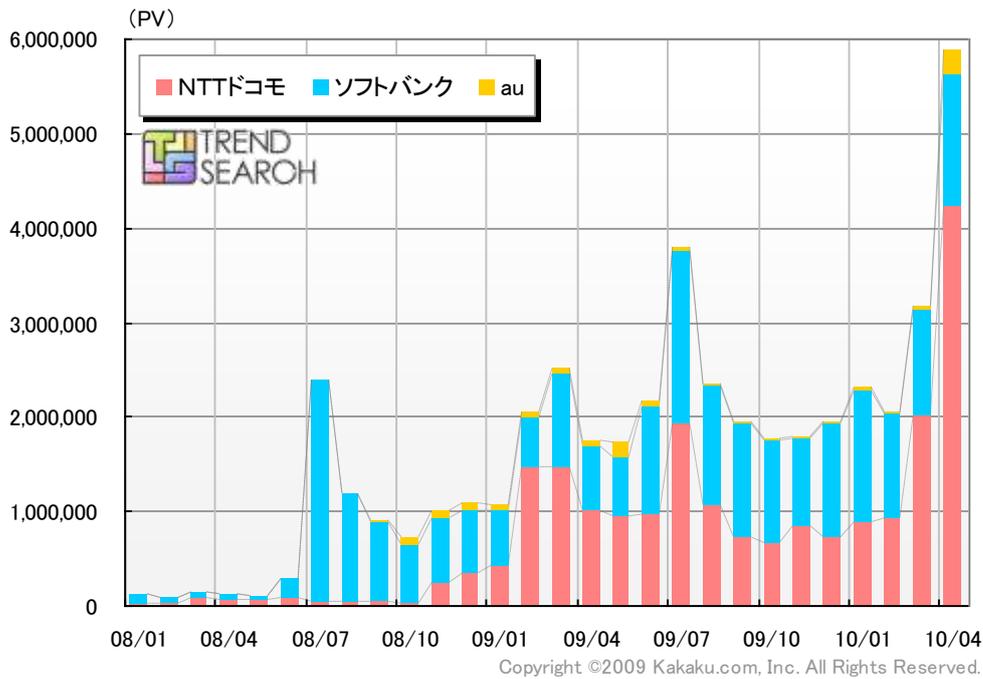
Copyright ©2009 Kakaku.com, Inc. All Rights Reserved.

「Xperia」がこれほどまでの爆発的な人気を集めた結果、スマートフォン全体のPV数も大きく底上げされたようだ。図2は、価格.comの携帯電話カテゴリにおける、スマートフォンのキャリア別PV数を示したものだ。

これまでの最大値は、昨年大きな話題となった「iPhone 3GS」が発売された 2009 年 7 月で、スマートフォン全体の総 PV 数は 400 万に迫るほどだった。なお、この時点では、NTTドコモとソフトバンクの割合は拮抗していた。その後、スマートフォン全体の PV 数は 200 万前後で落ち着いた状況が続いていた。しかし、2010 年 1 月に「Xperia」が発表されると、NTTドコモのスマートフォンの PV 数が増加を始め、2010 年 3 月には NTTドコモの PV 数が倍増し、たった 1 か月でソフトバンクを逆転。

「Xperia」が発売された 4 月には、スマートフォン全体の総 PV 数は 600 万に迫る勢いで急増し、その約 2/3 強を NTTドコモの製品が占めるまでに拡大している。iPhone 3GS の発売以降、やや人気は頭打ちの状態にあったスマートフォン市場を、「Xperia」が牽引して一気に伸ばした形だ。

【図 2 スマートフォンのキャリア別 PV 数】



発展途上の「Android アプリ」に関心が集まる

スマートフォン市場の拡大に貢献した「Xperia」だが、ユーザーはどのようなポイントに関心を持っているのだろうか。

図 3 は「Xperia」の発売直後のクチコミワードランキングを示したものだ。

これを見ると、「アプリ」というワードが常に上位に顔を出しており、4/12 週と 4/19 週では 2 週連続で 1 位となっている。このように、「Xperia」においては、アプリの存在がユーザーの大きな関心事となっていることがわかる。Android アプリは、先行する iPhone のアプリに比べると、まだまだその数は少ないが、アプリについての質問や、アプリの動作についての報告など、まだ発展途上の Andoeoid アプリに関する話題が多く書き込まれている。

もう 1 つ頻出しているキーワードが、スマートフォンとしてはライバルとなる「iPhone」だ。発売前から、「Xperia」と「iPhone」の機能や性能を比較しているユーザーが多く、両機種の違いについての質問が多く見られた。「Xperia」の発売以降は、「iPhone」から乗り換えたユーザーや、「iPhone」と併用しているユーザーによる両機種の扱いやすさの違いについてのクチコミなども多くなっている。

【図 3 「Xperia」発売直後のクチコミワードランキング】

順位	2010/3/29週	2010/4/5週	2010/4/12週	2010/4/19週
1	購入	設定	アプリ	アプリ
2	アプリ	メール	設定	iPhone
3	いい	アプリ	iPhone	充電
4	iPhone	使用	購入	いい
5	携帯	いい	使用	表示
6	ドコモ	iPhone	いい	使用
7	スマートフォン	良い	対応	メール
8	設定	充電	メール	設定
9	良い	同じ	PC	良い
10	マルチタッチ	購入	機種	購入

次期「iPhone」で巻き返しを図るソフトバンク、2強を追う au

このように、今や NTT ドコモの「Xperia」が大きな話題を集めている状況だが、ライバルであるソフトバンクも反撃に乗り出してきた。ソフトバンクは、4月27日、同社初の Android 2.1 搭載スマートフォン「HTC Desire SoftBank X06HT」(HTC 製)を発売。ソフトバンク携帯電話の中では、ソフトバンク携帯電話の注目度ランキングで1位にランクインし(2010年5月3日週)、ユーザーレビューでの満足度も2010年5月10日時点で4.96と非常に高いポイントをマークしている。購入者の中には、「Xperia」と迷った末に「Desire」を選択したというユーザーも見られた。さらに、この6月には「iPhone OS 4」を搭載した次期「iPhone」が発表されると見られており、「Xperia」の一人勝ちの構図を崩す体制は徐々に整いつつあると言える。

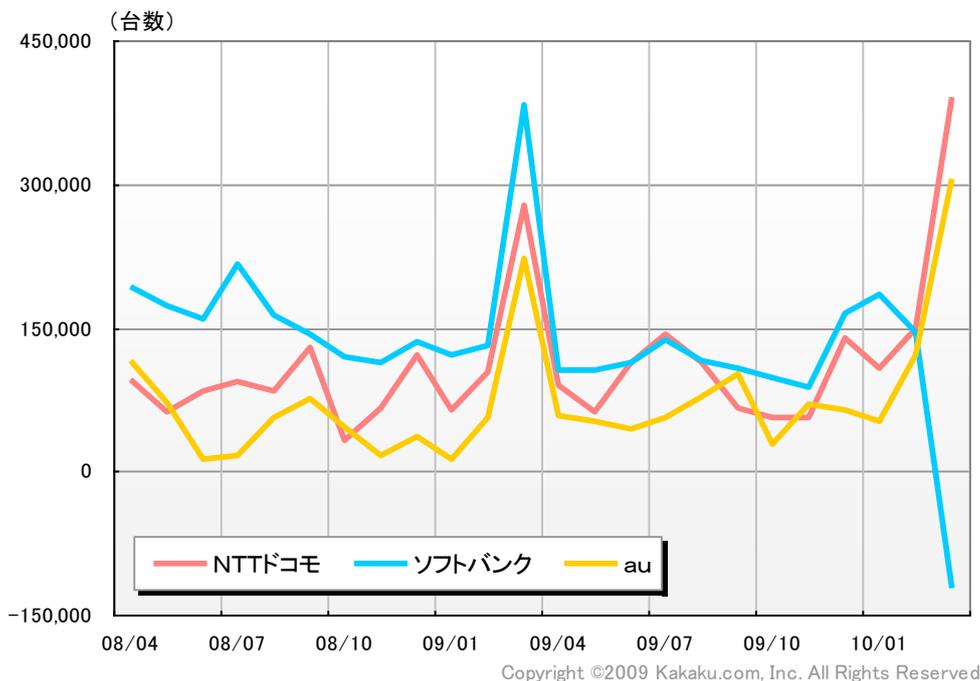
また、スマートフォンでは後塵を拝していた au もいよいよこの6月に、Android OS を搭載した「IS01」(シャープ製)と Windows Mobile OS を搭載した「IS02」(東芝製)を発売する。ただ、両機種とも、au 携帯電話の注目度ランキングでは10位以内の好位置につけてはいるものの、NTT ドコモやソフトバンクのスマートフォン製品のように、同キャリアの製品全体の中で1位、2位にランクインするほどの関心を集めているわけではない。実際、図2で示されたスマートフォンのキャリア別 PV 数を見ても、au の注目度はかなり低い。

ところで、社団法人電気通信事業者協会が4月に発表した2009年度の携帯電話の契約数(純増数)では、ソフトバンクが12か月ぶりに純減となり、NTT ドコモが久々に1位に返り咲いた(図4参照)。このソフトバンクが純減となった要因としては、同社が2Gサービスを終了したことがあるため(ドコモ、auも2012年3月末までに2Gサービスを終了予定)、純粋に「Xperia」の勢いと取ることはできないが、少なくとも、「Xperia」の登場によって、iPhone 人気でしばらく純増契約数トップを走ってきたソフトバンクの一人勝ち時代は終わりを告げたと言えるのではないだろうか。

■ 過去レポート一覧 : <http://kakaku.com/trendnews/weekly/>

■ 価格.com のデータ提供サービス『Trend Search』 : <http://kakaku.com/trendsearch/>

【図4 携帯電話の契約台数(純増数)】



[出典:社団法人電気通信事業者協会]

【価格.com データ】(2010年3月末現在)

月間利用者数 2,495 万人、月間ページビュー 9 億 2,421 万 PV、累計クチコミ件数約 1,100 万件
 複数ショッピングモールの商材を横断検索できるサービスを含めた掲載商品数は約 6,700 万点

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社カカコム 広報担当: 甲斐 内山

Tel : 03-5725-4554 mail : pr@kakaku.com